



2月はタンカンの収穫の最盛期。夫婦で協力して1つ1つ摘み取っていく



無加温、農薬不使用で作る完熟パッションフルーツは、K-GAP[®]を取得。奄美の豊かな自然の恵みがギュッと凝縮されている
※K-GAP(かごしまの農林水産物認証制度) 安心・安全の基準に沿った、生産者の取り組みを認証する制度



視察や研修は学びの宝庫。農家同士の交流も刺激になるため、積極的に参加している



一念発起して夫婦で就農！ 自然と共存する島の農業ライフ

収穫期には鈴なりのタンカンが畑いっぱいに広がる



友人にデザインを依頼して作成したチラシ。チラシを商品に同封することでリピーターを増やしている

お知らせ

＼ 農業の求人・求職をサポート！ /
県農業労働力支援センター

「正社員や外国人材を受け入れたい」
「農業法人で働きたい」といった農業の
求人・求職に関する相談に対応しています。
ぜひ御連絡ください。

■ 問い合わせ先
公益社団法人鹿児島県農業・農村振興協会
Tel 099-213-7223

ワイワイファームでは、商品のほとんどを直販しています。これにより、お客さんと顔が見える関係を築けるだけでなく、贈答用として島外に出荷されることの多いパッションフルーツを島民に食べてもらう機会も増えているそうです。

また、商品PRのために2人が主に活用しているのがフェイスブック。畑の様子を公開し、商品が届くまでの時間も楽しめるようにしています。コソコソとPRを続けた結果、口コミで評判が広がり、着実に販売を伸ばしています。

地道なPRを続け 口コミで評判に

先輩農家さんの 温かなサポートが力に

奄美大島でパッションフルーツやタンカンを生産しているワイワイファームの金城良洋さんとよしのさんは、「わいわい楽しく農業をやること」をモットーに、夫婦で一から農業を始めたそうです。

元々沖縄県で働いていた2人は、4年かけて就農資金を貯め、よしのさんの故郷・奄美大島に移住。笠利町の営農支援センターでの1年間の研修を経て、2010年に農園をオープンしました。営農支援センターでは、栽培技術を学ぶだけでなく、農業機械のレンタルや

就農9年目を迎える現在の目標は、収穫量を安定させること。タンカンは安定して収穫できるまでに4〜6年かかり、今は毎年植えてきた幼木を大切に育てている最中です。同時に台風対策の防風林の植樹も続けています。また、奄美果樹部会や農業青年クラブの研修・視察にも参加するなど、勉強も欠かしません。

常に前向きに農業と向き合ってきた2人を先輩農家さんもサポートしてくれるそう。先輩に温かく見守られながら、金城さん夫妻はこれからも農家として成長を続けていきます。

★キラリ★

農家通信

今回の農家

パッションフルーツ・タンカン農家

取材協力

ワイワイファーム
 きんじょう よしひろ
金城良洋さん
 よしのさん

2010年に新規就農。現在はパッションフルーツとタンカン栽培し、直販でリピーターを増やしている。

